



座間小キャラクター
ざまたん

校長のつぼやき^{ぶ?}

座間市立座間小学校
校長 石田 正行

日頃、気づいたことなどをちょっとずつ、つづやいていきたいと思います。時にはぼやきになってしまうかもしれませんが。なのでつぼやき…。

※学校ホームページで紹介しています。内容を補足しました。

7月6日(日)、本校を会場に第19回座間市消防団消防操法大会が開催されました。当日は、朝から気温が高く隊員の皆さんの体調が心配でしたが、日頃から鍛えているだけに、気合の入った実演でした。

消防団の方々は、みなさん本業を持ちつつ、夜間に集まって訓練をされているとのこと。寸暇を惜しんで練習されていることに頭が下がる思いです。

そもそも操法とはなにか…

消防操法は、日本の消防訓練における基本的な器具操作や動作の方式で、今回拝見したのは、ポンプ車操法と小型ポンプ操法の二つ。第二次世界大戦後から、主に消防団の訓練形式として行われているのだそうです。(Wikipedia 参照) かなりの歴史です。



ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部のそれぞれ7チーム、計14チームがその技を競い合いました。

ポンプ車操法は、消防車から2本のホースを火元へ伸ばし消火するもので、小型ポンプ操法は、エンジン付きのポンプから1本のホースを火元へ伸ばし消火するものです。

ポンプ車は1チーム5人、小型ポンプは1チーム4人で編成され、それぞれ役目が決まっていて、機敏で迅速な動きは「かっこいい！」の一言です。



ポンプ車操法の様子



小型ポンプ操法の様子

本校のお父さんや卒業生もいて、地元愛の強さを感じます。子どもたちも応援に来ていて、将来消防団員になるかもしれません。

消防団の方々は、火災が起こると自宅や職場から現場へかけつけ、消火活動を行います。今回操法大会を見学して、座間市の安全あんしんが守られている陰に多くの方の日頃の努力があることを改めて知りました。

今回は、消防団の大会でしたが、来年1月11日(日)には、座間消防による消防出初式が、本校を会場に行われます。